

# 入試分析 英語

## 【出題内容】〔全23問 1問4点(大問2の3(2)のみ12点)〕

設問数・形式・配点に変更なし。文法の独立問題は出題されず、読解問題が中心なのは例年通り。リスニング、図表を絡めた複合問題(会話文・Eメール・条件英作文)、対話文読解、物語文読解の計4題。

### 1 リスニング問題〔全5問 1問4点 計20点〕

短い会話文の3問と、スピーチの2問という形式は昨年と同じ。1回目であらすじと問題、2回目で解答となる内容を聞き取り必ず全問正解したい。難易度は高くないものの音声のスピードはかなり速いので、秋以降に開講するリスニング講座や過去問で耳を慣らしておきたい。

### 2 図表を絡めた複合問題〔全4問 英作文のみ12点、他1問4点 計24点〕

形式・難易度とも例年通り。図表と会話文の問題では最後まで読んで確実に判断する丁寧さが必要。条件英作文ではそれまでの対話文の流れから「日本の伝統文化に触れられる場所」を紹介する問題。場所の設定とそこで何ができるか・学べるかをセットで記述しなければいけない。配点が高いので非常に差が付きやすい。英作文の訓練を日ごろから行っておく必要がある。

### 3 対話文読解〔全7問 1問4点 計28点〕

形式・難易度とも例年通り。登場人物の発言の真意や理由を問うものが5題、全体的な内容に関する問題が2題。前者の5題にはすべて下線が施されているためその都度解くことができる。また、話の展開も“不安な少女を友人が励ます”というオーソドックスなものなので長文が苦手な生徒も正解したい。

### 4 物語文読解〔全7問 1問4点 計28点〕

形式・難易度とも例年通り。主人公の感情の理由を問う問題、本文の流れに合うように選択肢を並べ替える問題が各1題ずつと、本文の内容に関する問題が計5題。大問3と異なり、本文に下線が施されている問題は1題しかないため、全体を読み終えてから設問を見るのではなく、予め設問の場面を頭に入れてから本文を読み進め、その場面に差し掛かったらその都度解いていくことで時短を図りたい。

## 実際の問題にチャレンジ! 大問2 自由英作文問題

注) アメリカに住む Mike から「次回日本に行った時には、日本の伝統的な文化を楽しみたい」という趣旨の Eメール(実際には英文)を受け取った後の返事の一部が空所になっており、そこを英文 3 文で記述する。条件は以下の 2 つ。

条件①前後の文につながるよう書き、全体としてまとまりのある返事の Eメールとすること。

条件②Mike に伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由などを含めること。

In Japan, you can enjoy traditional Japanese culture in many places.

You can have interesting experiences. I'll tell you one idea.

I hope to visit some places with you when we meet again next spring. I'm looking forward to it.

Your friend,

Hiroto.